持ち運べる電気ケトル 温度調節機能搭載

MBE-TK07

取扱説明書

はじめにお読みください

この度は弊社製持ち運べる電気ケトル「MBE-TK07」(以下本製品)をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用の前に必ず本書をご一読いただき、大切にお手元に保管してください。

使用上のご注意

●ご使用の前には本書をお読みになり、正しくご使用ください。

【表示マークについて】

本製品を使用する際に、人体や財産に危害や損害を及ぼすことを未然に防ぎ、安全にご使用いただくため、重要な内容を記載しております。正しく使用していただくために表示マークと本文をよくお読みください。

⚠ 警 告 **人体が死亡もしくは重症を負いかねないことが生じることを想定される内容です。**

⚠ 注 意 **人体が損害を負いかねなく、物的障害の発生が想定される内容です。**

【絵表示の例】

お客様または第三者が本製品の誤った使用、使用中に生じた故障、不具合及び本製品によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められた場合を除き、当社は一切その責を負いませんので、予めご了承ください。



⃠マークは禁止(してはいけない行為)であることを告げる内容です。表示マークの後に具体的な内容を示しています。



●マークは強制(必ず実行していただく行為)であることを告げる内容です。表示マークの後に具体的な内容を示しています。

⚠ 警 告

- 定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。(ほかの器具と併用すると異常発熱により発火する恐れがあります。)
- 使用中に煙が出たり、においがした場合は直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。(異常発熱による発火、故障の原因になります。)
- 濡れた手で電源プラグに触れたり、抜き挿しをしないでください。(感電の原因になります。)
- 本体やコードを水に浸けたり、かけたり、丸洗いしないでください。(本製品に防水機能はありません。ショート・感電・故障の原因となります。)
- 本製品を絶対に分解、改造しないでください。(火災、感電、故障の原因になります。)
- 電圧切替スイッチが「100V-120V」の位置の時は、220V-240Vの電圧では絶対に使用しないでください。また「220V-240V」の位置の時は、100V-120Vの電圧では絶対に使用しないでください。(故障や事故の原因となります。)
- 電源コードに傷など付けないようにしてください。無理に曲げたり、引っ張ったり、上に重いものを載せたりしないでください。(破損した状態で使用すると、火災や感電などの原因になります。)
- 電源コードや電源プラグにホコリが付着していないか確認し、コンセントを奥までしっかりと挿し込んでください。(ホコリが付着していたり、接続が不完全な場合、火災や感電などの原因になります。)
- 本製品をふきんなどで覆ったりしないでください。(お湯が噴きこぼれたり、熱がこもり本体が変形したり、火災の原因になります。)
- 子供や乳幼児の手の届く場所で使用したり、保管しないでください。(やけどや感電、怪我をする恐れがあります。)
- 満水(0.6L)の水位目盛り以上に水を入れないでください。(お湯が噴きこぼれ、やけどや感電をする恐れがあります。)
- 本製品を傾けたり、ゆすったり、転倒させたりしないでください。(お湯が流れ出てやけどをする恐れがあります。)
- ふたを開けたまま使用しないでください。(お湯が流れ出てやけどをする恐れがあります。)
- 注ぎ口や蒸気孔に顔や手を近づけないでください。(蒸気でやけどをする恐れがあります。)
- 水以外の液体を入れないでください。(お湯が吹きこぼれたり、故障の原因になります。)
- コンセントから抜くときは必ず電源プラグ部分を持って抜いてください。(電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電などの原因になります。)
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。(漏電火災や感電などの原因になります。)
- 不安定な場所や振動の多い場所、熱に弱い場所に本製品を置かないでください。落下や転倒の原因になります。万が一、本製品の一部が破損した場合には直ちに使用を中止してください。(そのまま使用すると火災や感電などの原因になります。)
- 火や火気の近く、またストーブなどの熱源のそばで使用しないでください。(本体が変形し、故障の原因になります。)

⚠ 注 意

- 湯沸かし中に本体を移動させたり、お湯を注いだりしないでください。(お湯が流れ出たり、蒸気でやけどをする恐れがあります。)
- コンセントを針金などの金属類でショートさせないでください。また、本体の中に針金などの異物を入れないでください。(火災や感電などの原因になります。)
- 本体のお手入れは冷めてから行ってください。(高温で火傷をする恐れがあります。)
- 本製品のお手入れをする場合は、シンナーやベンジンなどの揮発性有機化合物が含まれているものは絶対に使用しないでください。(故障の原因になります。)
- 医療機器など人命に関わる機器には使用しないでください。
- 直射日光の当たる場所での使用、保管をしないでください。(本体が変形し故障の原因になります。)

ご使用前に

電圧の確認・切替をする ※必ず実行してください。

ご使用の前に必ず、使用される国や地域の電圧を確認して、本体底面の電圧切替スイッチを切り替えてください。電圧切替スイッチはマイナスドライバーや電源プラグの刃のような先の平たい硬いもので回転させて下さい。下記の通り、使用する地域の電圧の位置に合わせてください。(※10円玉などのコインでは回せません)

海外 220V～240Vの地域で使用する場合



日本(100V)と海外110V～120Vの地域で使用する場合



※電圧切替スイッチは必ず左右どちらかに確実に合わせてください。
※電圧切替スイッチの切り替えは必ず電源プラグを抜いた状態で行ってください。

設置場所を確認する

乳幼児の手の届かない、水平で安定した場所に設置してください。

初めてお使いになる場合

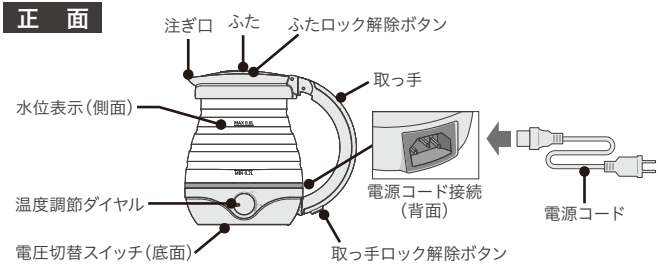
シリコン部を立ち上げ、ふたを開けて水を入れ、中をよくすすいでください。水を満水(0.6Lの線)まで入れて、一度沸騰させてください。お湯を捨てて、再度中を水でよくすすいでください。

海外でお使いになる場合

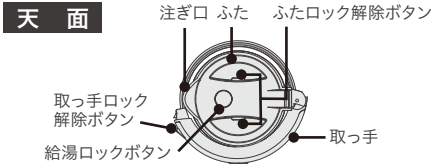
電圧切替のほか、コンセントプラグの形状を変更する必要がある場合がございます。ご使用になられる国のコンセント形状を確認し、別途「電源変換プラグ」をご用意ください。

各部名称

正　面



天　面

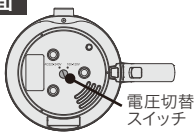


使用方法

❶電圧を確認・切り替えてください。

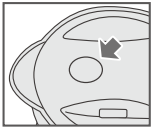
『ご使用前に』を参考に、使用地域に合わせた電圧に切り替えられているか必ず電圧切替スイッチを確認してください。（⚠必須事項）

底　面

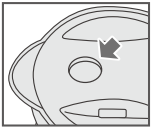


❷給水ロックボタンを解除してください。

■ロック状態
給水ロックボタン
が上がっている

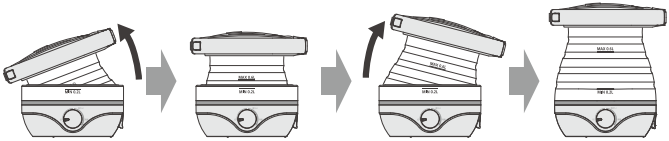


■ロック解除状態
給水ロックボタン
が下がっている



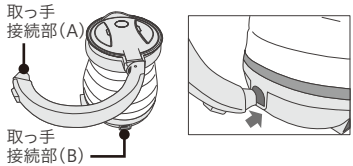
❸本体のシリコン部を立ち上げてください。

上部ふた部分の枠と本体下部をそれぞれ持ちシリコン部を引き出してください。下記のように片側ずつ引き出すと立ち上がりやすいです。



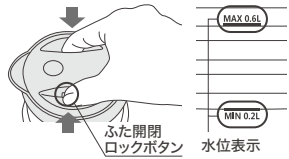
❹取っ手を設置してください。

取っ手を可動させて取っ手接続部(A)を取っ手接続部(B)にカチッとロックされるまで挿し込んでください。



❺ふたを開けて、水を入れてください。

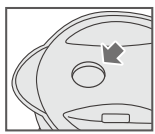
ふたロック解除ボタンを 2個同時に押しながらふたを開けて、中に水を入れてください。本体側面の水位表示を確認しながら、0.2L以上、0.6L以下で水を入れてください。水を入れたら、カチッとロックが掛かるまでふたを閉めてください。



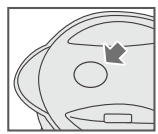
※水以外の物を入れないでください。
※水を満水(0.6L)以上に入れないでください。沸騰時にお湯が噴きこぼれ、大変危険です。
※注水時に本製品外側や、電源コードが濡れてしまった場合は、乾いた布などで水分を拭きとってください。
※ミネラルウォーターを使用した場合、水に含まれるミネラル成分が付着しやすくなり、ケトル内部に白や茶褐色の汚れが付着したり、ざらついたりする場合があります。

❻給水ロックボタンをロックしてください。

■ロック解除状態
給水ロックボタンが下がっている

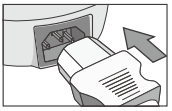


■ロック状態
給水ロックボタンが上がっている



❼お湯を沸かします。

付属の電源コードをケトル本体の電源コード接続口に接続してください。ケトル本体を水平で安定した場所に置き、電源プラグをコンセントに挿し込みます。



温度調節ダイヤルを回して、温度を設定します。[温かい]までダイヤルを回すと約60～65℃(使用する環境の温度や気圧により変動します)まで加熱します。ダイヤルを最後まで回すと沸騰するまで加熱します。湯沸かしが完了すると、電源ランプが消灯します。



❽お湯を注ぎます。

沸騰がおさまったら、必ず温度調節ダイヤルを「切」にして、本製品の電源プラグを抜いてください。取っ手を持ち、給水ロックボタンを解除してからお湯を注いでください。

> ※お湯を注ぐときは熱い蒸気がでますので、やけどをしないようにご注意ください。
> ※本体が非常に高温になっていますので、取っ手以外の部分には触れないでください。
> ※本製品は保温機能を搭載しておりますので、残り湯が少ない場合は必ず電源プラグを抜いてください。(残り湯が蒸発してしまう場合があります。)

沸騰までの時間の目安(満水時0.6L)

AC100V	約7分～7分半
AC110V～120V	約4分半～5分
AC220V～240V	約4分半～6分

※表の時間は目安になります。使用場所の気温や気圧により沸騰時間は大きく変動する場合があります。

保温機能について

温度調節ダイヤルを加熱に設定している状態では加熱→加熱停止→(製品内部の温度センサーが一定温度まで下がると)再加熱を繰り返す保温機能を搭載しております。

> 保温機能により場合によっては水が蒸発し空焚きになる可能性があります。保温しない場合には必ず電源ダイヤルを[切]にするか、電源コードをコンセントから抜いてください。

保管・お手入れ

使用直後は本体が非常に熱くなっております。電源コードを抜いて、本体が完全に冷めてからお手入れを行ってください。本製品は水で丸洗いはできません。

本体外部

●固くしぼった布で汚れを拭き取ってください。
●シンナーやベンジンなどの揮発性有機化合物が含まれているものは絶対に使用しないでください。
※本体底面やコードに水がかからないよう、十分ご注意ください。

本体内部/通常のお手入れ

●水でよくすすぎ、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。

本体内部/汚れがひどい時

ミネラルウォーターを沸かした場合、水に含まれるカルシウムやマグネシウムといったミネラル成分がケトル内部に白や茶褐色の汚れが付着したり、ざらついたりする場合があります。また、湯沸かしにより内部の汚れが目立ってきた場合、下記の手順で洗浄を行ってください。

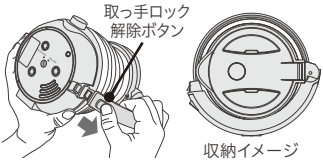
※本体内側の汚れ（白い浮遊物、虹色などの変色、白いはん点、赤さび状のはん点など）は、水に本来含まれるミネラル成分の作用によるものです。衛生上問題ありませんので、ご安心ください。

①水を満水（0.6Lの線）まで入れて、クエン酸を適量入れてかき混ぜてください。
※クエン酸の量は、ご使用になるクエン酸の使用方法をご確認ください。
②ふたを閉めて2～3度沸騰させ、その後温度調節ダイヤルを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
③約1時間放置して、お湯を捨て、水でよくすすいでください。
④水ですすいだ後、水を満水（0.6Lの線）まで入れて再度沸騰させてください。沸騰後のお湯は捨ててください。汚れが除去しきれない場合は、何度か繰り返してください。

保　管

●本体が完全に冷めて、水分が完全に取り除かれた状態で保管してください。
●直射日光の当たる場所や高温多湿、ホコリが多い場所で保管しないでください。

収納方法

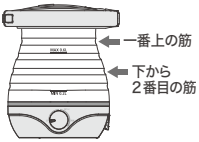


❶取っ手を収納します。

取っ手ロック解除ボタンを押して、ロックを解除します。そのまま、ふたへ収納してください。

❷シリコン部を収納します。

給水ロックボタンを解除した状態で、ふたの上から下に押し込みます。うまく収納出来ない場合は、最初に下から2番目の筋を内側に入れながら、たたんでください。次に一番上の筋を内側に入れながら、たたんでください。



製品仕様

電源	AC100～120V/220～240V　50/60Hz
消費電力	AC100～120V：570～820W　　AC220～240V：680～820W
電源コード	約75cm
容量	最大600ml
サイズ	使用時：W188×D137×H170mm　　収納時：W145×D137×H100mm
質量	約548g（本体のみ）
材質	ステンレス、シリコン、PP
保証期間	お買い上げ日より1年間

保証規定

この製品は厳密な検査に合格したものです。保証期間内にお客様の正常なご使用状態のもとで万一故障した場合には、本保証規定に従い無償で同等品と交換させて頂きます。製品とレシートなどの購入証明書を添えてお買い上げの販売店までお持ちください。但し、次に該当する場合は保証対象外となります。

1. 購入証明書に購入日や販売店が明記されていない場合
2. 購入証明書と故障した本製品を弊社に提示いただけない場合
3. 購入証明書に偽造・改変などがある場合
4. 中古品やオークションなどで購入された場合
5. 取り扱い上の誤りによる故障及び損傷、修理や改造などをされていた場合
6. お買い上げ後の移動、落下または輸送などによる故障、損傷が生じた場合
7. 火災、天災、または異常電圧により故障、損傷が生じた場合
8. 接続している他の機器の不良、その他外部要因によって生じた故障及び損傷

※保証は日本国内においてのみ有効です。

保証期間お買い上げ日より **1年**

レシートなどの購入日を証明する書類を本書とあわせて大切に保管してください。

商品に関するお問い合わせはこちら▶
https://www.nakabayashi.co.jp/support/

ナカバヤシ株式会社

2026年9月 初版　MBE-TK07[1618]